

長野県公運協だより

第 147 号

発行所
長野県公民館運営協議会
長野市若里 1-1-4
県立長野図書館内
電話 (026) 217-6256
FAX (026) 217-7015

多様化の時代、コロナ禍のときこそ



令和三年度会

長の柏澤（かしわざわ）です。

珍しい苗字な

で、相澤さんと柏原さんによく間

違われます。受付をしても呼んでもらえないこともしばしばです。

人間の脳は、「かしづ」と聞いた時点で、経験則からそれに続く

最もポピュラーな名前に行きつく

ようです。先入観の一環です。

LGBTQへの無理解も、世の中

には「男性と女性」とで構成され

ているという先入観や固定観念に由来していると考えられます。人

も世界も多様です。日本の常識は、

世界の非常識と言われます。多様性を知り、認め、尊重すること（＝寛容であること）は、私たちの人生を豊かにしてくれます。共通性を見いだすことで、絆が強くなり

ます。

長野県公民館運営協議会

会長 柏澤 由紀一

公民館には様々な人達が集まります。かつては、閉じられた地域の人達が集う場所でしたが、今は様々な背景や人種や国境を超えて人達が集う時代です。私達に求められるのは、広い視野と、現実を先入観ではなく、出来るだけ事実、ファクトに基づいて分析することだと思います。

加えて、コロナ禍にあります。変異株の蔓延で、コロナの恐れ方もこれまで以上の注力が必要です。だからと言って、公民館活動を工夫して続けることを恐れてはいけません。昨年度の経験を通じて得た、リモートの活用、書面会議の有効活用、コロナ禍だからこそできることに積極的に取り組む必要があります。

県公民館運営協議会は、各地の状況や特性を踏まえて、情報交換や研修を通じて、各公民館のパワー

アッピを図ることを大切にしています。幸い今年度から公運協のOB・OGの有志による応援団が結成されました。経験豊富な皆さんを講師として、活動全般についてのアドバイザーとしてご活用ください。

今年度の公民館大会は、大北公民運協の皆さんにお世話になります。二年振りに集つての開催となることを願っています。

令和三年度長野県公民館館長総会並びに研修会

松本市城北公民館

館長 田中 正

昨年二月末からの新型コロナウイルスの世界的な流行による感染拡大の影響を受けて、本年度の総会の開催も危ぶまれました。しかしながら令和三年度長野県公民館館長総会並びに研修会が五月十二日、重要文化財である松本市「あがたの森文化会館」で通常開催と

しては二年振りに開催することができます。何分不馴れた状況下で、ご不便をおかけしたと思いま

すが、県内から百五十七名の参加者をお迎えし、大変ありがとうございました。

これも偏に長野県公民館運営協議会・長野県教育委員会役員の皆様のお力添え・ご協力の賜物と感



総会では、開催地を代表し松本市長、臼雲義尚氏・次に長野県教育委員会事務局文化財・生涯学習課長、久保友二氏から各々公民館を取り巻く情勢と公民館が今後果たすべき方向性についてご挨拶いただきました。総会後、基調講演では、塩尻市教育委員会地域連携コーディネーター池上良満氏による「信州型コミュニティスクール」と文部科学省型コミュニティ・ス

クールの違いについて」実践事例を交えてご説明いただきました。これを踏まえた二つのテーマについて十六の分散会で熱心な討議が行われました。

県内の公民館を取り巻く状況は時代性・地域性とともに様々です。しかしながら終戦後の文部省社会構想の理念は不滅です。政治的に中立な立場から自ら学び、考え、行動する人づくり・地域づくりの拠点としての「公民館」の役割が再確認された一日となりました。

令和3年度 主事研修会・総会を終えて

更埴公民館運営協議会

事務局長 中村彰男

今年度の公民館主事研修会・総会は、コロナ禍でも「できる公民館活動」を模索するなかで、手探りの中での開催で、正直安堵しております。

開催前には県の警戒レベルを睨みつつ、コロナ禍でも開催できるよう準備を行いました。例えば、主会場と分散会場を一か所に集約するための座席配置の工夫を始め、会場入口に手を触れないアルコール消毒器の設置や、片付け時に短時間に机や椅子を消毒できるように消毒スプレー等の部材を多めに

配置する等、思いつく限りの新型コロナウイルス感染予防対策をしました。

研修会の講師は小滝復興プロジェクトチーム代表の樋口正幸様をお招きしました。長野県北部地震の危機をきっかけに、「三百年後の未来に小滝を引き継ぐ」という地域づくりのビジョンとそれらに取り組んだ人々の姿をお聞きすることで、我々公民館主事にとって、コロナ禍後の公民館活動の貴重なヒントをいたいたい気がしました。

最後になりますが、会場準備などでご協力いただいた北信地区の公民館主事の皆様を始め、公民館運営協議会の役員並びに事務局の皆さんにも多大なるご尽力をいたしましたことについて、この場をお借りして感謝申し上げます。



リレー
コラム

「長野県らしい
公民館とは?」
⑰

活動の主体は 住民の皆さん

飯田市公民館

前館長 塩澤哲夫

各地で降水による土砂災害の報道がなされ、三六災と重なります。

さて、「集い、学び、結ぶ」公

民館で、いつも念頭に置くことは、

「活動の主体は住民である。」だと

思っています。「住民の皆さんが何を願っているか、それを実現す

るためにどうするか」ということ

です。

飯田市座光寺に、「座光寺の子どもを語る会」があります。地域の子どもは地域で育てることだ、小学校の先生方と話す機会を持ちたい、地域の誰でも参加できることが大事、の想いから計画されました。

学校と家庭を中心にして、地域の誰でも参加でき話し合い考え方い、自分(たち)に何ができるか、自分(たち)の活動に進めていく機会となっています。昨年は、コロナ禍で「休校中に家庭で困ったこと心配だったこと」を、各教室に分散して自由に話し、これからどう対処するか考えました。参加した方から「心配や不安が一杯だつたけれど、皆さんの話を聞いて少し安心できた。今日来て良かった。」と言つていただけました。この企画のきっかけは、学校運営協議会で保護者の代表から、「休校中、本当に不安だったし心配だった。」と。そして、「学校でも詳しいことがつかめなかつた。」と発言があつたことからでした。「こりゃあ地域でも知つておくべきだ。」と、「座光寺の子どもを語る会」のテーマになりました。

今年は、タブレットの使い方に心配があることから「ICT教育と情報リテラシー」について学び意見交換する予定です。

身の回りのことについて、気楽に心配事や不安を言えることが大事です。こういう事が必要じゃないか、こうしたらみんなが嬉しい、こういう事をみんなで考えたい、などの「想いを言う」「声出し」が出発だと思つています。これが地域課題になると思います。

公民館は何をするのか。想いを受け止めてサポートしコーディネートするのが公民館だと思います。勿論、公民館から皆さんに提案することもあります。それは、地域の方が課題に気づいていない時。あくまでも主体は地域住民です。話して分かつたら行動に移すこと、学びを活動につなげることが大事です。

今、子どもさんにとって何が必

要か。親御さんや地域の人たちはそれに対しても何ができるか。一人ひとりにとって実施可能なことは何か。自分事として当事者となつて考えて取り組んでもらえることが必要です。一人でもいい、誰かと一緒にでもいい。何かしながらでもいい。毎日じゃなくてもいい。一人ひとりの動きになってくれることを願っています。

県教委より

長野県及び長野県教育委員会からのお知らせ・お願い

昨年のこの時期のことを思えば、本年度の公民館事業が順調に進められていることを心強く感じております。公民館長総会並びに研修会に於いては、県教委の進める「信州型コミュニティスクール」について大きく取り上げていただき、感謝をするとともにさらに学設されました。ただ、令和二年度はコロナ禍のため、なかなか講習を受講することが難しい状況になりました。また、今年度は信州大学が講習会場となるはずでしたが、来年度に延期されることとなりました。これからコロナも徐々に落

ち着いてくることが考えられます。が、計画的に受講を進めて頂ければ幸いです。社会教育士が創設されたことで社会教育関係者以外の方からの問い合わせも出てきます。

長野県生涯学習推進センターでは、年間を通して「生涯学習推進者実践講座」を開催しています。

この講座は、企画の段階から市町村公民館の皆さんと一緒に進めていきます。地域が限定されますが、もし、センターと一緒に講座を開催したいというご希望がありまし

たら、これからでも結構ですのでセンターまでお声かけください。

六月の県議会で、ある議員が人口減少の原因と対策について次のように発言をされました。「人口減少の原因の一つとして、地域において女性が尊重されていないことが考えられる。そして、その対策として女性に対する固定的な意識や習慣を変えていく必要がある。そのためには公民館活動や生涯学習での取組が最も効果的と考える」という趣旨のことを述べられました。持続可能で活力ある地域社会の形成という時代の要請に対し、さまざまな側面から公民館、生涯学習への期待が集まっていることを感じました。

(文化財・生涯学習課
主任指導主事 後藤卓己)

ブロックニュース

中信

講師はLGBT啓発講演家の長岡春奈さんです。長岡さんは性同一性障害の当事者として、県内各地での講演活動を中心に、性同一性障害の当事者や家族に対する支援活動も展開しておられます。



LGBT

T 啓発講演家の長岡春奈さんです。長岡さんは性同一性障害の当事者として、県内各地での講演活動を中心に、性同一性障害の当事者や家族に対する支援活動も展開しておられます。

LGBTについては全くといっていいほど知識がなく、どんな研修会になるか心配でした。が、講師の長岡春奈さんの「ざくばらん」な語り口調に三十余名の聴衆は引き込まれました。

これまでテレビの中から聞こえてきた「ジェンダー」「LGBT」「バイセクシャル」等様々な用語について、資料と共に解説をしていただき、一つ一つの意味について正しく理解することができました。

春奈さんの手記から、保育園卒園までの、着る物の多くは近所の女の子の下がりだったが、わたしは自分のことを「女の子」と自覚していたので、女物を着ることが当然だと思っていたし、嬉しかった。小学生のころ、おじいちゃんに赤いランドセルをお願いして、「わかった」と言ったのに、届いたランドセルは黒色で悲しかった。

当事者でなければ伝わらない切実な思いが、会場に集まった皆さんを引き寄せ、一時間半という時間が経つのが早く感じられました。言ってはいけない言葉や、性別の明記が必要な申請書の問題など、そんな現状について気づくことができました。朝日村第六次総合計画の「誰もが人権が尊重され、自分らしく活躍できる社会環境をつくります」を共に感じる研修会となりました。



「ここに生きる

コロナ禍をきっかけに

川上村公民館

主事 中島 啓 隆

川上村公民館は、村の文化拠点である「川上村文化センター」内

にあります。本村は、高原野菜の栽培が主産業であるため、公民館事業は農閑期が中心となります。

村民の冬期間の活動の中心として、例年多くの皆様に公民館事業にご参加いただいております。

しかし、昨年度においては、新型コロナウイルス感染症対策のため、ほぼ全ての公民館事業が中止となりました。村民から残念だという声が多く聞こえ、本年度については、対策をとつて開催したいと思っております。

コロナ禍ではありますが、精力的に活動を続ける、館報編集委員会（以下、委員会といいます）があります。館報は年六回発行し、記事の企画、編集作業まで七名の委員で対応しております。委員はとても熱心で、日々館報の記事で取り上げられ



令和3年度 長野県公民館運営協議会役職員

住 所	〒380-0928 長野市若里1-1-4 県立長野図書館内		
電 話 番 号	026-217-6256		
F A X 番 号	026-217-7015		
メ ール ア ド レ ス	kounkyo@mx1.avis.ne.jp		
ホ ー ム ペ ー ジ	https://naganoken-kounkyo.com/		
役 職 名	氏 名	所 属	
会 長	柏澤由紀一	松本市芳川公民館長	
副 会 長	山田 賢一 原澤 利明 宮坂 清 岩下 彰 高野 豊	安曇野市堀金公民館長 東御市公民館長 下諏訪町公民館長 長野市中条交流センター所長 長野市立朝陽公民館長	
理 事	館長会幹事長 館長会副幹事長 館長会幹事 館長会幹事 主事会幹事長 主事会副幹事長 主事会常任幹事 主事会常任幹事 主事会常任幹事 主事会常任幹事	小泉 文明 松本 貴秀 百瀬 純雄 岡庭 啓眞 川俣 徳晃 斎藤 岳久 土屋 明美 笠原 英明 中村 彰男 岩垂 宏直 三ツ井洋樹	上田市中央公民館長 小川村公民館長 山形村公民館長 阿智村公民館長 長野市立七二会公民館係長 木曾町三岳公民館主事 小諸市公民館主任 岡谷市川岸公民館主事 千曲市戸倉公民館係長 松本市白板地区公民館主任 飯田市公民館主事
監 事	芳原 毅彦 吉澤 秀樹	木島平村公民館長 茅野市中央公民館主事	
事 務 局	木下 陽介 筒井美保子 竹内美津江	事務局長 事務局付アドバイザー 事務局員	

五月二十日、松本市松南地区公民館において、令和三年度長野県公民館運営協議会定例総会が開催されました。

長野県公民館運営協議会定例総会開催

今まで公民館事業を行ってきた中で、当たり前だと思っていたことが、コロナ禍をきっかけに再考する機会となりました。今後も村民の新しい取組をサポートしていきたいと思います。

同日の午後には、資料刊行委員会および長野県公運協だより編集委員の委嘱が行われ、「社会教育実践集」「長野県公運協だより」の発刊に向けた第一回編集委員会が開催されました。



活動基本方針、事業計画、収支予算等を審議、承認しました。また、新会長に松本市芳川公民館の柏澤由紀一館長が選出されました。本年度の役員は、左表のとおりです。